



浦和大里小学校だより

5月号 令和8年4月28日発行

教育目標
夢と希望をもち、
人間性豊かで
心身ともに
たくましい子の育成

がっこう
学校とは？

べんきょう
勉強するところ



ともだち
友達と

なか
仲よくするところ



学校とは

校長 神田 朋恵

新緑が目にもまぶしい季節となってまいりました。

学校の若葉たちも、すくすくと元気に背（芽）を伸ばそうとしています。

4月、子どもたちをととても愛おしく思える場面がたくさんありました。目を見て自分から挨拶をする姿、勇気を出してチャレンジしようとする姿、新しい友達と仲よくしようとする姿、教師の話を一言も聞き漏らすまいと集中する姿、上級生が下級生を思いやり、手を差し伸べる姿…。保護者や地域の皆様が、日々大切に慈しみ育ててくださっていることが、子どもたちの姿を通して伝わってきます。この子どもたちの温かさ、優しさを、学校というフィルターを通すことで、さらに広く、さらに深めていきたい——そう強く感じた4月でもありました。

始業式では、学校は「勉強するところ」「友達と仲よくするところ」であると子どもたちに話しました。勉強とは、国語や算数、運動だけに限りません。優しい気持ちをもつこと、最後まで頑張り続けることなど、テストでは点数にならない学びもたくさんあります。一人でも勉強はできますが、友達がいればもっと楽しく、もっと多様な考えに触れ学びを深めることができます。そうして人は、より賢く、より豊かに成長していきます。先生や友達とともに、そのような学びを重ね「みんなでステキな浦和大里小学校を創っていきましょう」と伝えました。

人は一人ひとり違います。本校では、人と比べるのではなく、人と違うからこそわかる一人ひとりのよさを大切にしていまいます。そして、互いの個性を尊重し合いながら、人との関わりを大切にできる力を育て、よさを認め合う学校づくりを進めてまいります。

♪ そうさ 僕らは 世界に一つだけの花 一人ひとり違う種をもつ

その花を咲かせることだけに 一生懸命になればいい ♪ 『世界に一つだけの花』より

4月、子どもたちは学級生活に慣れることに、教師は学級づくりに懸命に取り組みました。今月は、開校50年記念音楽会が予定されています。6年生は修学旅行もあります。学級での生活に少しずつ慣れてきた今、次は学年全体での活動が増えていきます。中・高学年では教科担任制により複数の目で子どもたちを見守っていますが、低学年においても、学年・学校全体で子どもたちを育てていく姿勢を大切にしていまいます。音楽会は、友達と音を合わせ、一つの目標に向けて協力する大切さを知る大事な学校行事です。学級だけでなく、学年や学校への所属意識、団結力も高めます。音楽を創りあげる過程を大事にし、子どもたち一人ひとりがめあてをもち、自ら進んで練習に取り組み、達成感や満足感を味わえる音楽会にしたいものです。ぜひ、努力を認め励ます言葉掛けと、温かな拍手をお願いいたします。

5月は、気持ちが不安定になりやすい時期とも言われています。御心配なことや御不明な点がございましたら、いつでも遠慮なく御相談ください。今月も、よろしくお願いいたします。